

肥料コスト低減に向けた自己チェックリスト（参考例）

肥料価格が上昇しています。肥料コストを抑えるための取組を進めましょう。

土壌診断を通じた施肥の見直し

チェック☐

土壌の状態に応じて、肥料の投入量を減らしたり、比較的安価な低成分の肥料銘柄への変更をご検討ください。

土壌状態の把握方法（例）

- ほ場の土壌診断結果の利用
(例えば3年前など過去の分析値も活用可能)
 - 簡易診断キット、簡易分析法の結果の利用
 - 地域内の同じ土壌タイプ等の分析値の利用
 - 航空写真から推計した各農地の分析値の利用
- 〔各農家の取組のほか、地域で栽培暦や施肥設計を見直すことなどもご検討下さい。〕

施肥の見直し（例）

- 肥料投入量の削減
- 低成分や成分の見直し等の肥料銘柄の変更
- 安価な単肥の利用

堆肥など国内資源の活用

チェック☐

輸入に頼る化学肥料の原料価格が上昇しています。価格が安定している堆肥など国内資源の利用拡大をご検討ください。

国内資源の利用（例）

- 堆肥（牛糞、豚糞、鶏糞）や魚かすなど有機物の利用拡大
- 食品残さや下水汚泥コンポストの利用拡大
- 堆肥入りの化学肥料（混合堆肥複合肥料、指定混合肥料）等への銘柄変更
- 緑肥作物の栽培とすき込み



効率的な施肥方法・施肥技術の導入

チェック☐

地域の栽培暦等に合わせた適正施肥や低価格銘柄への変更のほか、効率的な施肥技術の導入についてもご検討ください。

効率的な施肥方法（例）

- 地域の栽培暦に合わせた適正施肥
- 安価で成分値が似ている汎用銘柄への変更

効率的な施肥技術（例）

- 局所施肥技術（側条施肥、畝立て同時施肥、苗箱全量施肥、ポット内施肥など）の導入